

THE HISTORY OF THE

OF THE

# ゴロゴロヤール

名前

よしだ

吉田

ともつね

朋恒

学科・専攻・コース

フィギュアデザイン学科 キャラクターフィギュア専攻

専門学校で学んでいる内容

フィギュアを綺麗に制作するための基礎、人体クロッキー自由制作、人体の構造(筋肉や骨)、塗装 制作に関する知識を自分で学んでいく方法

得意科目

- ・スカルピーを使った自由制作
  - ・クロッキーや胸像制作の授業で構造を理解して作成する科目
- 資格・検定・使用可能ツール・スキルなど
- ・Adobe Photoshop
  - ・Adobe Illustrator
  - ・3級造園技能士
  - ・トレース技能検定3級





溶けた

シロエナガ

前面



左側面



使用素材  
エポキシパテ  
ポリエステルパテ

サイズ  
縦約 4,5cm  
横約 3cm  
高さ約 1,5cm

製作時間 約 40 時間

製作年 2023~2024

後面



右側面



ワンダーフェスティバルで展示とガチャガチャの景品として制作しました。

初めて原型制作から白レジンでの複製塗装まで最後まで出来た作品です。



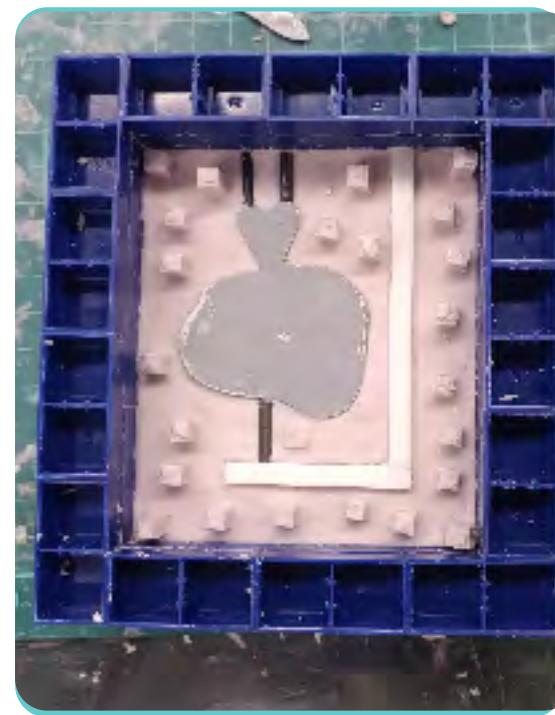
エポキシパテで原型を作り、凹みや隙間にはポリパテを使い埋め、サーフェイサーを吹きました。



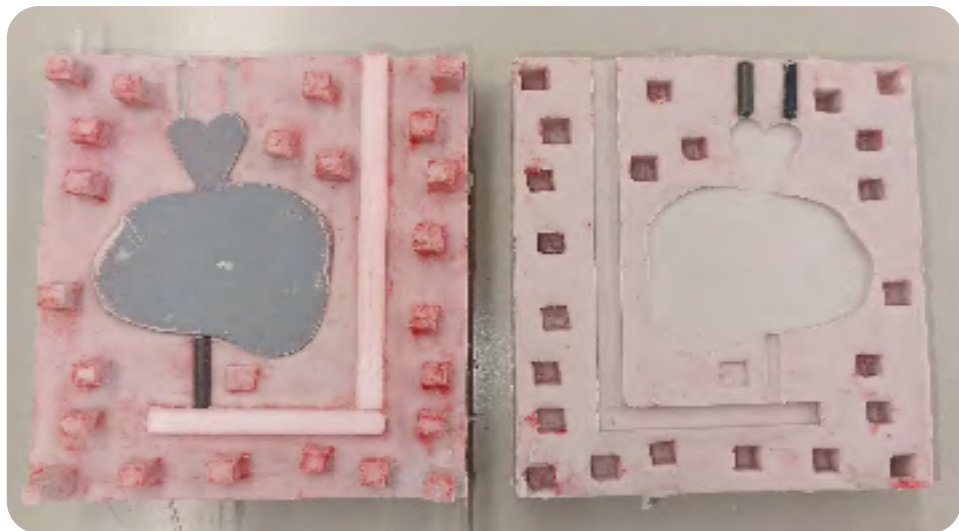
気泡が入らないように細い線のようにシリコンを掛けて12時間～13時間を掛けて固めました。



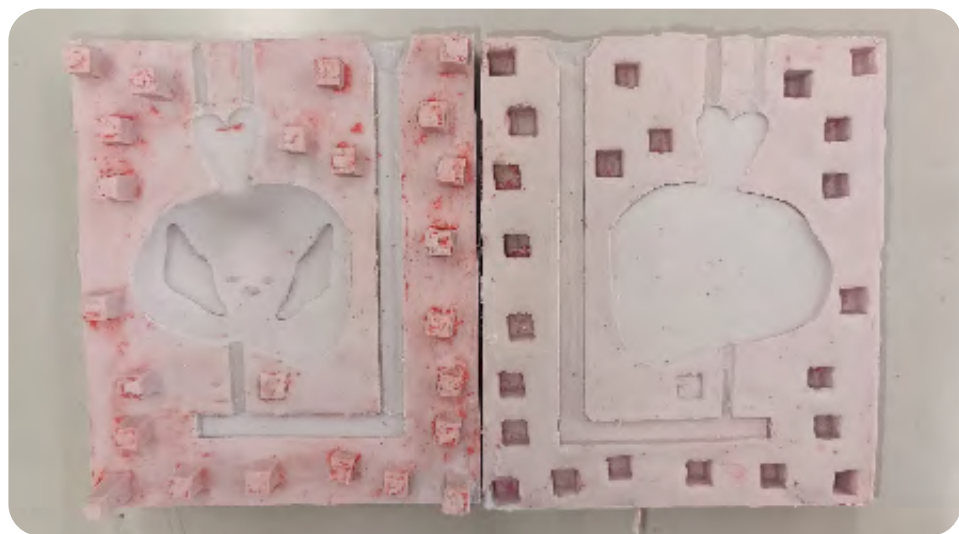
完成した原型を半分粘土で埋め5mmプラ角棒とプラモデルのランナー(約3mm)で湯道と空気穴を作り、型がずれないようにするために角棒を押し付け凹みを付けました。



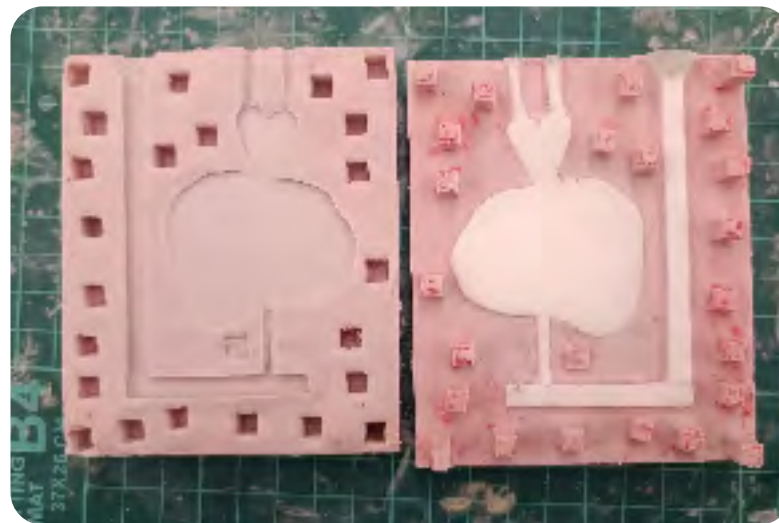
裏面の粘土を綺麗に剥がし、離型剤を塗り、シリコンをながしました。



シリコンが固まったら型から原型と角棒を外ずし、湯道の入口をすり鉢状にデザインナイフでくりぬきました。



ベビーパウダーを塗り、型をきれいにするために一回レジンを流して型をきれいにする。



型をきれいにした後、展示用に1つガチャガチャの景品のように5つ複製しました。



きれいに複製できなかった個体が多く出てしまったが離型剤を色々試して見れたので良かった。

展示用に1つガチャガチャの景品のように  
5つ複製しました。



展示用のシマエナガはラッカー塗料で塗装  
クリアーを吹きその上から黒のエナメル塗料  
を筆塗りをしました。

エナメル塗料が白いパーツに残ってしまった  
状態でその上にクリアーを吹いてしまったの  
のであまりきれいに塗装できなかった。

模刻



MEIKO



前面



左側面



使用素材  
スカルピー

サイズ  
縦約3cm  
横約4cm  
高さ約5cm

製作時間 約20時間

製作年 2024年

後面



右側面



デザインテストの課題（4日間）で模刻しました。

限られた時間での制作だったので模刻元のフィギュアとは手のゆびや首の角度などかなり違います。



MEIKO

原型制作

模刻

塗装作品

HG

ザウオート

前面



左側面



使用キット  
HG ザウオート

サイズ  
縦約8cm  
横約7cm  
高さ約18cm

製作時間 約45時間

製作年 2023年

後面



右側面



入学してはじめての塗装の授業で作成しました。  
使用したキットの元の色より暗めのいろでとそうしました。

デカールや墨入れなど初めて行う作業の練習として多く前面に貼っています。

墨入れがかなりのはみ出ているところがあるのでもう少し拭き取ればきれいに完成させられたとおもいました。

涂装作品



HG

エビルビル

前面



左側面



使用キット  
HG エアリアル

サイズ  
縦約5cm  
横約6cm  
高さ約18cm

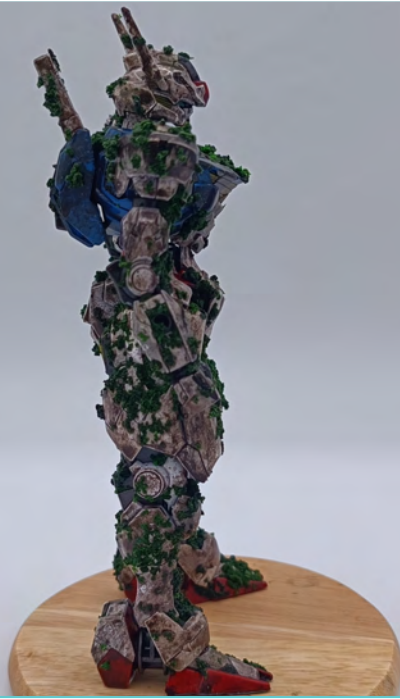
製作時間 約23時間

製作年 2023年

後面



右側面



元々2回目の塗装として、使用したキットの元の色に近い色で塗装して完成していたのですが、墨入れの時にエナメル塗料とエナメル溶剤が掛かってしまって本体が汚れてしまったので、アニメのオープニングテーマのシーンを再現しました。

こだわっているところは、出来るだけ劇中を再現して機体から植物が生えているようにつけています。

塗装作品

HG

デジバーディング

前面



左側面



使用キット  
HG デミバーディング

サイズ  
縦約9cm  
横約8,5cm  
高さ約19cm

製作時間 約28時間

製作年 2023~2024年

後面



右側面



三体目の塗装作品で今まで作っていた塗装作品より表面処理とエッジ出しをこだわりました。

汚し塗装は重力の方向に向かって落ちていくように見えるように意識しました。

艶消しを汚し塗装の後に吹いてしまったので後から修正ができませんでした。